

## 編笠山&権現岳山行報告

【山行日】2018年 10月 20日(土)~21日(日)

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 15,600円

【メンバー】CL:鈴木、 安西、小林、関、福島

10月20日(土) 晴れ後曇り時々霰

観音平登山口より編笠山を登り、青年小屋から  
権現岳をピストンし青年小屋へ宿泊する。

岩舟支所P4:00=観音平登山口P6:40/7:00~雲海

8:00/8:10~押手川 9:10~編笠山 11:00/11:10~

青年小屋 11:40/12:30~権現岳 14:20/14:30~

青年小屋 15:50



憧れの「遠い飲み屋」青年小屋への宿泊山行がやっと実現できた。去年の同じ時季に計画したが、台風の影響でやむなく中止となってしまった。中央自動車道の小淵沢 IC で降り、八ヶ岳高原ライン

を北に進み観音平の駐車場に着く。

駐車場はすでに満車で、かろうじてトイレ前が空いており、じゃまにならないよう車を止める。

出発の準備をして、トイレとストレッチが済んだら出発し登山道に入る。青空の下、笹に覆われた緩い斜面を進み、ミズナラやカラマツの樹林帯の登りはとても気持ちが良い。

ゆっくりしたペースで登り、1時間程でベンチがある雲海展望台に着く。右側は古杉川の深い谷で開けており、紅葉を見ながら小休止する。



ここからはダケカンバやシラビソ、シャクナゲなどの暗い樹林帯を歩くようになり、岩がゴツゴツした道を登ると押手川の小平地に出る。ここから右に行けば青年小屋に直行するが、直進し編笠山の山頂を目指す。ここからは傾斜がきつくなり、岩がちのゴヨウマツ、ダケカンバ、ツガの中の急登になる。樹高がしだいに低くなり、明るく開けた場所で休憩し後ろを振り返ると鳳凰三山や北岳、甲斐駒ヶ岳や仙丈ヶ岳が見渡せ富士山もうっすら見えている。

シャインマスカットや菓子を食べ、エネルギーを補給したら最後の登りに取り掛かる。鉄ハシゴを乗り越え、ハイマツの中の岩溝を直登して行くと傾斜が緩くなり、大岩が積み重なった編笠山山頂に着く。ガスが掛かり、最初は赤岳や阿弥陀岳がうっすら見えていたが、しだいに何も見えなくなる。

南側の富士山や南アルプスの山々も見えなくなり、記念写真を撮ったら青年小屋に向かって下る。



北にシャクナゲのトンネルを抜け、巨岩の上をペンキマークに従って降りて行く。バランスを取りながら慎重に下ると、青年小屋の脇に出る。「遠い飲み屋」の赤ちょうちんが下がる、青年小屋前のテ



ーブルを借りランチタイムとする。本日の山ご飯は、定番のキノコたっぷりの煮込みうどん。うどんを作っていると霰が降って来て、気温も低く寒くなってきた。温かいうどんを食べて元気を付け、青年小屋の受付を済ませ権現岳に向かう。霰が降っていて風も有り、「権現岳に登りますか？」と聞くと全員が「登りたいです」と頼もしい返事が返ってきた。小屋の裏から権現岳への登山道を登って行く。最初は樹林帯の登りで普通の登山道だが、ノロシ場の小ピークを過ぎると岩場のトラバースや登りになる。クサリを頼りに登っ

て行くが、スタンスの岩が小さくて岩に慣れない人は大変そう。ギボシの登りは特に厳しく、途中何回か泣きが入ったが何とかクリアした。権現小屋手前の尾根に出ると奇跡が起こり、空が急に晴れ北側の赤岳や阿弥陀岳、横岳の八ヶ岳の主稜線がクッキリと見えた。晴れたのはほんの10分くらいで、その後は暗い雲の中に消えてしまった。権現岳山頂まで登り、記念写真を撮っておやつを食べたら下山する。下山はクサリ場が登り以上に難儀すると思ったら、岩場に慣れたせいかわれほど怖がらず降りていた。ノロシ場のピークを過ぎれば危険箇所が無く、皆ルンルン気分で下り無事青年小屋に戻った。部屋は8人部屋を5人で使用でき、超ゆったりと寝られる。荷物を整理したら談話室に行き、楽しみにしていた宴会が始まる。薪ストーブを挟んで炬燵とテーブルがあり、炬燵には先客が居るので我々はテーブルに座る。ビールとワインで飲み始めるが、居酒屋のおつまみは夕食の準備があるので4時で終了との事。持ってきたおつまみとポテトチップを買って飲み、体験山行の



K 林さんと F 島さんが知り合いだったので、話が大きい盛り上がった。ワインが2本空いたところで一旦部屋に戻り、直ぐに夕食の時間になって食堂に行く。夕食はアジフライをメインにサラダや煮物、冷奴に豚汁と超豪華で美味しい。豚汁とご飯はお代わり自由で、何杯でもお代わりできる。夕食

が済んだら部屋に戻り、ワインの酔いが心地よく直ぐに寝てしまった。飲まない二人は足が冷たくて寝られなく、談話室の炬燵にもぐって消灯前まで居たようだ。

**10月21日(日) 快晴 青年小屋から編笠山へ登り返し、山頂から往路を戻り観音平登山口へ下り岩舟支所へ。**

青年小屋 6:50～編笠山 7:30/7:45～押手川 8:45/8:55  
～雲海 9:40/9:50～観音平登山口 P10:15/10:25  
＝八峯苑鹿の湯 10:40/12::10＝岩舟支所 P15:15



朝食10分前に起こされ、寝ぼけ眼で食堂の入口に並んだ。窓の外を見ると東の空が赤く染まり、今日は天気予報通り快晴になるようだ。朝食も豪華で大きいシューマイが2つ並び、スクランブルエッグやサラダ、海苔など食べ切れない。ごはんも熱々の味噌汁が美味しく、皆完食していた。

朝食が済んだら出かける準備をして、小屋の御主人に挨拶し外に出る。雲一つない快晴で、編笠山の左手に富士山が端正な姿で聳えていた。今日は巻道を下る予定だが、あまりに良い天気なので「編笠山に登りたい人？」と聞くと、全員が「ハ～イ登りたいです」と元気な返事が返ってきた。富士山を見ながらストレッチを行い、赤提灯の前で写真を撮ったら出発する。昨日下りで難儀した大きな岩



を、落ちないようにバランスを取りながら登って行く。安全第一でゆっくり慎重に登り、シャクナゲのトンネルを抜けると編笠山の山頂に着いた。文字通り360度の大パノラマが広がり、北側に昨日登った権現岳から赤岳、中岳、阿弥陀岳と連なり蓼科山の向こうには北アルプスの山々が連なる。

南側には富士山から鳳凰山、北岳、甲斐駒、鋸岳と連なり、その右には中央アルプスから御嶽山まで見渡せる。皆さん大興奮で「大変だったけど登ってよかった」と笑顔が弾けていた。皆と山座同定をしていると、蓼科山から縦走してきたと言うお姉さんが、我輩に山の名前を聞いてきた。聞かれた山を教えてあげると、「小淵沢方面へ下るのはどちらですか？」と聞かれ「その道標を右に降りて行けば観音平に降りられます」と教えると、深々と頭を下げ下って行った。皆さん夢中で写真を撮り、展望を楽しんだら下山する。下山は昨日登って来た道を下るが、押手川までは岩交じりの急降下なのでゆっくり慎重に下る。押手川まで下ると安心し、休憩を取ってミカンや菓子を食べて体を休める。



ここからは余裕が出て、紅葉を楽しみながら軽快に下る。雲海展望台で最後の休憩を取り、リンゴやチョコを食べながら紅葉の展望を楽しんだ。ここからは紅葉が丁度見頃で、日に照らされたモミジが映えとても美しい。登りではそれほど綺麗に感じなかったが、下りは余裕があると目線が違うので綺麗に見えるようだ。しだいに傾斜が緩くなり、笹に覆われた道歩くようになると間もなく観音平の駐車場に着く。車は昨日よりも多く止まっており、道路の片側には路上駐車列が出来ていた。

靴を履き替え、荷物を積んだら温泉に向かう。温泉は車で10分程走り、鉢巻道路に面した八峯苑「鹿の湯」に立ち寄る。食事とセットで1300円の件を求め、食事は6種類のメニューから選べる。まずは温泉にのんびり浸かり、山の疲れを癒し髭を剃って歯磨きをした。温泉から上がると丁度レストランが開始し、甲斐駒ヶ岳が見える席でランチをいただく。カツ丼や生姜焼き、お蕎麦など、好きなものをオーダーし美味しくいただいた。食事が済んだら売店に寄って買い物し、帰路につく。小淵沢ICから中央自動車道に入り、小仏トンネル手前で少々渋滞があったが予定よりも早く岩舟支所に帰着出来た。歩かなくては行けない「遠い飲み屋」でお酒を飲み、編笠山から絶景を満喫し長年の夢が叶い大満足の2日間だった。